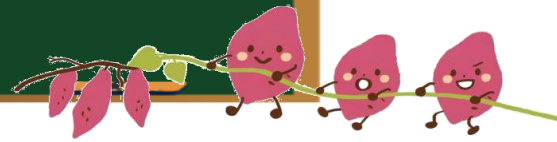


2021 食育の取り組み (疑似芋ほり体験)



疑似芋ほり体験を発案

したきっかけ

- ・園庭がない
- ・立地の都合上近くに畑がない
- ・コロナ禍で交通機関に乗っての移動が出来ない



悪い条件からそれをもとに
直接できないのなら体験
だけでもさせてあげたいと
思い発案!



ねらい

- ・子ども達に疑似体験を通して季節を感じたり、
自然に触れる楽しさや旬の食べ物に興味を
持つきっかけに繋げるため

実際に疑似芋ほりを体験する前に・・・



子供たちに芋ほりの

イメージがつくように実

際に体験する前に絵本を

読み導入を行った。

Point





フェルトの中に綿を詰めて大小様々なお芋の形に縫い合わせて作りました。自分たちで収穫したお芋はお土産に持ち帰ってもらったり、園でのおままごとなどに再利用しました。

実際に抜くお芋には重りを入れて本物と同じ重量感を出してお芋の重さを実感してもらいました！



本物のさつまいもにも触れて

もらい疑似との違いを比較しました！

「もう、本当の芋ほりでも上手に抜けるよ！」

という子ども達の自信の声も

聞こえてきました。



今回この疑似芋ほり体験を通して、コロナ禍でも季節を感じ収穫の喜びを知ってもらうことができました。中々外に出て色々な場所に直接行き自然に触れ合うということができなくなってしまった環境の中でも、このように室内で疑似というかたちではありますが様々な経験をこれからも子ども達に経験させてあげたいと思います。